

学校法人 了徳寺学園 柔道部新聞

66 kg級平岡拓晃が階級を上げ復活優勝！



8月29・30日に尼崎にて全日本実業柔道個人選手権大会が開催され、了徳寺学園柔道部から11名が出場しました。66kg級へ階級変更した平岡拓晃（ロンドン五輪60kg級銀メダリスト）が優勝、その他、準優勝が1名、3位が3名となりました。今大会の結果により11月に開催される講道館への出場が決定しました。

←左より、山田監督、六郷（66kg級3位）、太田（73kg級準優勝）、平岡（66kg級優勝）、川端（60kg級3位）、下山（73kg級3位）

結果詳細

【60kg級 平岡 拓晃：優勝】

ロンドン五輪後、66kg級に階級を変更した平岡は、初戦こそ技によるポイントはなかったものの、接戦をものにし、次の戦いへ駒を進めます。3回戦以降は、平岡本来の切れ味鋭い技を連発し、一本勝ちの山を築き決勝に進出します。決勝でも序盤から積極的に攻め、袖釣込腰で技有を奪って勝利し、見事66kg級での復活優勝を果たしました。ロンドン五輪以降、怪我に苦しむ時期が続きましたが、辛抱強く稽古を重ね階級変更以来、初タイトルとなりました。11月の講道館杯へ向けしっかりと準備させたいと思います。



2回戦	平岡 拓晃	○	優勢勝(指導3)	高橋(松前柔道クラブ)
3回戦	〃	○	一本勝(内股)	安井(満洋丸柔道クラブ)
4回戦	〃	○	一本勝(内股)	佐藤(日本エースサポート)
準々決勝	〃	○	一本勝(腰車)	島(つくばユナイテッド)
準決勝	〃	○	一本勝(小内巻込)	青木(パーク24)
決勝	〃	○	優勢勝(技有:袖釣込腰)	石黒(自衛隊体育学校)

【73kg級 太田 慶一：準優勝】

強豪との試合をしっかりとポイントを奪って勝ち上がってきた太田は、決勝で昨年同様、橋本との対戦となります。序盤から太田が積極的に攻撃し、場外際で技をつないだ太田のポイントかと思われた場面を作ります。その後も攻め、相手に指導が与えられます。しかし、相手の一本背負投で有効を返され、その際に膝を痛めます。そのまま痛みをこらえて試合をしますが、最後は体落を我慢できず、昨年の雪辱はなりませんでした。

2回戦	太田 慶一	○	反則勝(指導4)	上田(オフィスコーポレーション)
3回戦	〃	○	一本勝(横四方固)	喜多(ALSOK)
4回戦	〃	○	一本勝(合技:一本背負投・一本背負投)	二神(トヨタ自動車)
準々決勝	〃	○	優勢勝(技有:背負投)	鐘井(福岡消防局)
準決勝	〃		一本勝(背負投)	田村(パーク24)
決勝	〃		一本負(体落)	橋本(パーク24)



【66 kg級 六郷雄平：3位】

好調の六郷は、オール一本勝ちで準決勝に進出します。準決勝でも先に相手に指導が与えられ、ペースを握ります。その後、背負投で有効を許し、指導3まで追いますが届かず、試合は終了します。しかし準決勝からは5分のはずが4分で行われていたミスが発覚し、再度1分のやり直しとなります。ここで相手の背負投を受けてしまい、決勝進出はなりません。今回得た課題を振り返り、講道館杯ではリベンジできるよう頑張りたいと思います。

2回戦	六郷 雄平	○	不戦勝		秀平(豊田自動織機)
3回戦	〃	○	一本勝(内股)		木下(赤穂YAMWARAクラブ)
4回戦	〃	○	一本勝(小外刈)		矢野(パーク24)
準々決勝	〃	○	一本勝(大外刈)		前野(旭化成)
準決勝	〃		GS一本勝(背負投)	○	石黒(自衛隊体育学校)

【60 kg級 川端 龍：3位】

川端は順調に勝ち上がり、準々決勝で西尾との激闘を制するも、準決勝では椿に競り負けて3位にとどまりました。

2回戦	川端 龍	○	一本勝(腕挫十字固)		澤田(日本エースサポート)
3回戦	〃	○	一本勝(背負投)		池田(明武館田邊道場)
4回戦	〃	○	GS一本勝(小外掛)		西尾(自衛隊体育学校)
準々決勝戦	〃		優勢負(巴投)	○	椿(新潟総合警備保)

下山徳大 (73 kg級)：3位

ベテラン鳥居との対戦を何とか切り抜けた下山は、その後も順調に勝ち上がり、初のベスト4に進出します。しかし準決勝では橋本に押し切られ、決勝進出はなりません。

1回戦	下山徳大	○	一本勝(体落)		馬場(クラレ・岡山)
2回戦	〃	○	GS優勢勝(指導2)		鳥居(日本エースサポート)
3回戦	〃	○	優勢勝(指導1)		佐藤(松前柔道クラブ)
4回戦	〃	○	一本勝(肩車)		尾崎(高松刑務所)
準々決勝	〃	○	一本勝(肩車)		稲吉(HIグループ)
準決勝	〃		反則負(指導4)	○	橋本(パーク24)



【66 kg級 小倉武蔵：4回戦敗退】

小倉は、接戦が続く中、しぶとく勝ち上がります。4回戦で石黒と対戦し、勝負は延長戦に突入します。ここで相手の背負投をまたいで十字固に移行しようと試みますが、そのまま押し切られて有効を失い、上位進出はなりません。

2回戦	小倉 武蔵	○	優勢勝(背負投)		石井(松前柔道クラブ)
3回戦	〃	○	優勢勝(背負投)		鈴木(VILIGE)
4回戦	〃		GS優勢負(背負投)	○	石黒(自衛隊体育学校)

